

高原町

議
会
だ
よ
り



高原中学校体育祭

たちばな

92 

92号

令和7年 5月臨時会(第3回)
6月定例会(第4回)

議会のあらまし・・・・・・・・・・P 2～P 3
議員と語ろう会・・・・・・・・・・P 4
文教厚生常任委員会・・・・・・・・P 5
一般質問・・・・・・・・・・P 6～P 10
議会の動き・・・・・・・・・・P 11
キラリ☆たかはるびと・編集後記・・・P 12

5月 臨時議会

第3回 高原町議会臨時会において、同意2件、条例2件、補正予算2件が提案され、原案どおり同意、承認、可決しました。

【同意した事項】

- ・監査委員の選任・・・・・・・・・・・・・・・・松元和由紀さん・福澤卓志議員

【承認した事項】

- ・高原町税条例の一部改正
- ・国民健康保険税条例の一部改正
- ・令和6年度高原町一般会計補正予算(第13号)・・・(補正額)2億4,278万2千円

予算総額 76億8,728万9千円

【補正予算】

- ・令和7年度高原町一般会計補正予算(第1号)・・・(補正額)9,142万3千円
- ※主なもの
- 畜産飼料(配合飼料) 1t当たり1,000円の補助
 - 令和6年1～12月の出荷された子牛、1頭に3,000円の補助
 - プレミアム付商品券(プレミアム率30%)、1人1万円まで

副議長の選挙や議会構成の選任等が行われました。

議長 前 原 淳 一 副議長 末 永 充

総務経済常任委員会

委員長	山 下 香 織
副委員長	西 嶋 陽 代
委 員	岩 元 礼 子
委 員	温 水 宜 昭
委 員	前 原 淳 一



文教厚生常任委員会

委員長	外 村 仁
副委員長	郡 山 貞 利
委 員	福 澤 卓 志
委 員	陣 圭 介
委 員	末 永 充

〈担当所管〉

総務課・総合政策課・産業創生課・農政林務課
・農畜産振興課・建設水道課・税務会計課など

〈担当所管〉

町民課・福祉課・健康課・教育総務課・町立病院・峰寿園など

一般会計予算・決算常任委員会

委員長	末 永 充
副委員長	西 嶋 陽 代
委 員	全議員で構成

議会運営委員会

委員長	郡 山 貞 利
副委員長	西 嶋 陽 代
委 員	山 下 香 織
委 員	外 村 仁
委 員	末 永 充

議会だより編集委員会

委員長	西 嶋 陽 代
副委員長	岩 元 礼 子
委 員	山 下 香 織
委 員	郡 山 貞 利

議会の在り方検討特別委員会

委員長	岩 元 礼 子
副委員長	福 澤 卓 志
委 員	全議員で構成

西諸広域行政事務組合

議 員	温 水 宜 昭
議 員	外 村 仁
監査委員	岩 元 礼 子

高原町都市計画審議会

委 員	岩 元 礼 子
委 員	温 水 宜 昭
委 員	山 下 香 織
委 員	西 嶋 陽 代

公共施設の在り方特別委員会

委員長	末 永 充
副委員長	郡 山 貞 利
委 員	全議員で構成

高原町監査委員

監査委員	福 澤 卓 志
------	---------



6月 定例会

第4回 高原町議会定例会において、報告3件、条例改正4件、補正予算1件、その他1件が提案され、原案どおり可決しました。

【報告案件】

- 議決を得た契約の変更・・・・・・・・町道柳野・今房線の契約額増額818万1千円
- 令和6年度高原町一般会計予算繰越明許費繰越計算書(全11事業合計)3億7,502万3千円
- 令和6年度高原町一般会計予算事故繰越し 繰越計算書(1事業)・・・・・・・・2,497万円



事故繰越し2,497万円
は消防ポンプ自動車購入

Q: 納車日はどうなっているか。



A: 引き渡し式を令和7年6月30日に予定している。

【条例改正】

- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例



国民健康保険税条例、所得割総額を100分の15.01から100分の16.01に引き上げ

Q: 支払えない人への対応は。
・応能割：応益割の比率は50：50になるのか。



A: 個別に対応していく。
・現在46：54が48：52になる。近づけていく必要がある。

- 高原町児童遊園の設置及び管理運営に関する条例



並木児童プール及び児童遊園を廃止する。

Q: 子ども議会で遊具設置の要望があったが。
・用途廃止後の用地・施設は。
・小塚児童遊園は。



A: 既設の遊具を活用し、新たな施設整備は考えていない。
・遊具・プールは撤去予定。普通財産か行政財産か協議中。
・小塚区が管理する。

- 高原町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

- 高原町畜産振興資金貸付基金条例の一部を改正する条例

【その他】

- 権利の放棄

【補正予算】

- 令和7年度高原町一般会計補正予算(第2号)・・・・・・・・(補正額)7,984万9千円



地域運営組織活動補助金
500万円

Q: 何に使われるのか。内訳は。



A: 後川内まちづくり準備委員会の経費50万円と鳥獣被害対策に450万円。



災害対策費の備品購入
484万円

Q: J-ALERTの更新だが、現在の機器は、いつ導入されたか。



A: 平成30年度に導入した。機器の老朽化と運用変更に対応するため、更新が必要。

予算総額 68億1,827万2千円

賛否が分かれた案件

議案番号	件名	議決結果	①岩元礼子	②福澤卓志	③温水宜昭	④陣圭介	⑤山下香織	⑥西嶋陽代	⑦外村仁	⑧郡山貞利	⑨末永充	⑩前原淳一
議案第26号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	●	●	○	●	○	●	○	○	○	—
議案第30号	令和7年度高原町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

議員と語ろう会報告

～町民の声を、これからのまちづくりに～

4月21日から24日にかけて、町内4会場にて「議員と語ろう会」を開催しました。今年度は延べ109名の皆さまにご参加いただき、地域の課題から将来の高原町のビジョンまで、多岐にわたるご意見・ご要望を直接伺う貴重な機会となりました。



4月21日
狭野小体育館



4月22日
後川内小体育館

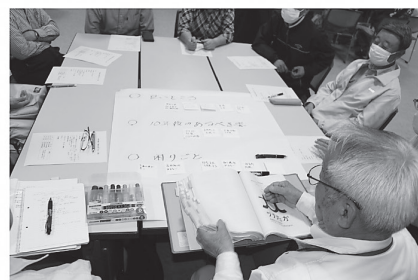
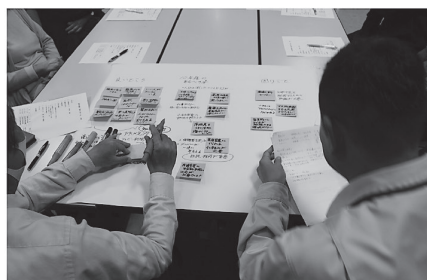


4月23日
広原小体育館



4月24日
ほほえみ館中研修室

今回の議員と語ろう会は、「みんなで考えるまちづくり」の場として写真のように、例年とは異なる「ワークショップ形式」で参加者と議員が模造紙を囲み各々の意見を付箋に書き出しながら「良いところ」「困りごと」「10年後に向けて」に分類していく中で、対話を通じて気づきや発想が広がりました。



この会で頂戴しましたご意見・ご要望は、一部6月定例会で各議員が一般質問させて頂き、併せて6月13日に町長へ要望書を提出しました。これで終わりにせず、今後の議員活動・政策形成の参考とさせていただきます。これからも町民の皆さまと共に、より良い高原町を築いてまいります。

公立保育所の今後について

1. 目的

今後の公立保育所の在り方や方向性について、町の方針及び職員・保護者の意見や考えを調査し、町への提言に生かすことを目的とする。

2. 調査日・場所 令和7年2月3日 ほほえみ館 会議室

3. 調査先 健康課、高原町社会福祉協議会

4. 調査内容

- (1) 利用者及び職員数
- (2) 現状と課題
 - ・職員確保について
 - ・職員の業務内容の変化について
- (3) 今後の方向性と体制
 - ・令和9年度以降公立保育所をどうするかについて
- (4) 保育現場の職員及び保護者の声
 - ・公立保育所の存続について
 - ・職員に対する処遇改善について



【まとめ】

町内3か所の公立保育所の指定管理を高原町社会福祉協議会が担っているが、指定管理期間が残り2年間となっている。小中学校の統廃合を行った後、保育所が今後どうなっていくのか、職員をはじめ保護者のなかにも不安を感じている方からの声が上がっている。また、施設の老朽化、児童数の減少、職員の確保および処遇改善など様々な課題を抱えている。

令和7年10月より新しい首長のもと、今後、公共施設の管理運営方針が決定されていくこととなるが、公立保育所の今後の方針を速やかに示され、様々な課題への対策を図っていかれたい。議会としては、今回あげられた課題についてしっかりと提言していきたい。



高原町公立保育所の在り方について



ぬくみず よしあき
温水 宜昭議員



(一般質問の様子)

問 公立保育所利用者数の推移を問う。

答 ①狭野保育所(定員30名)
令和5年度16名・令和6年度14名・令和7年度16名

②後川内保育所(定員30名)

令和5年度25名・令和6年度15名・令和7年度15名

③広原保育所(定員40名)

令和5年度29名・令和6年度24名・令和7年度26名

問 後川内、広原保育所で実施されている放課後居場所対策事業の今後を問う。

答 令和8年度までは継続し、その後は検討中である。

問 3公立保育所の建物(築50年以上)への対応を問う。

答 3公立保育所とも平成25年度に耐震補強工事が実施されており、耐震安全性は確保されている。

問 高原町出生数の推移と課題を問う。

答 高原町の出生数は、令和5年度31名、令和6年度30名で合計特殊出生率は1・60であり出産年齢人口の減少が課題と考えている。

問 高原町内保育士の現状を問う。

答 町内の保育施設では配置基準等は満たしており、不足等の相談は無い。高原町では令和4年度から保育士就職支援事業補助金交付を実施し令和5年度5名、令和6年度7名が申請交付されている。

問 5歳児検診普及に向けての取り組みと課題を問う。

答 高原町では「むじつこ発達相談会」を、今後5歳児検診へ移行予定である。課題として集団健診担当医師不足と事後フォローの体制づくりが必須と考えている。

問 公立保育所の在り方を問う。

答 現在、建物の老朽化状況や各保育所の入所状況等を考慮しながら公募方法も含め協議している。私の任期中に方向性をお示ししたい。



▲高原町社会福祉協議会

街路整備と地域安全対策について



すえなが みつる
末永 充議員



(一般質問の様子)

問 県道西麓・小林線の5差路の交差点から霧島団地方面に向かう町道は、幅員が狭く離合場所が必要ではないか。

答 用地買収などを先行し離合場所を検討する。

●計画路線の安全性

問 二葉・村移線の部分開通により、通行量が増えている。また一旦停止しない車を見かける。

答 早期着手を目指していく。また一旦停止の周知をおこなう。

●通学路

問 高原小学校前のスクールゾーンでは、マナー違反車を多く見かける。今後の対応は。

答 スクールゾーン見直しや交通ルールの周知徹底等、学校と連携し取り組んでいく。

●街路灯

問 二葉・村移線の整備完了区間は街路灯がない。どう進めていくのか。

答 街路灯、もしくは防犯灯での対応を進める。

応の両面から、比較検討を行い、整備を進める。



▲街路整備事業
二葉・村移線の取付道路

●地域安全対策

問 県道西麓小林線と町道二葉・並木線の交差点は、停止線が消え、路面の段差や劣化が進んでいる。交通事故が多く対応が必要では。

答 一体的な補修対応を県及び公安委員会に要望してある。

問 様々な犯罪が多発しており、より身近に情報の共有が必要ではないか。

答 今後も様々な機会を活用しながら地域安全の啓発をおこなっていく。

●防犯灯のLED化

問 LED化改修工事が行き届いていないことへの対応は。

答 地域からの修繕要望を伺いながら、優先して順次進めていく。

行政区(再編・刊行物等)に関し、町民からの意見



ふくざわ たくじ
福澤 卓志議員



(一般質問の様子)

●職員定数等

問 現在の正規職員数は。

答 令和6年4月現在115人、全会計(水道、病院等)合わせて163人。

問 本町は課が多いのでは。

答 現在14課であるが、少子高齢化を含め、町民サービスの充実のためには適正であると考えている。

問 専門職職員の配置は適正か。

答 数年後に退職を迎える職員もいるため、採用の必要性を考えている。

問 会計年度任用職員数は。

答 令和7年4月現在、教育委員会29名、病院29名、それ以外75名、合計133名。

問 給与の総額は。

答 3億8,805万円。

●防災行政

問 児童生徒のヘルメット登校が適正であったか。

答 新燃岳噴火レベル引き上げに伴い、風向きによっては噴石の注意が必要であるため。

問 小中学生の着用が必要ならば町民へのヘルメット着用の呼びかけも必要ではないか。

答 徒歩で歩く大人に関しては、注意喚起が必要だと考えるが、強制は出来ない。

一歩先の教育環境を



にしじま はるよ
西嶋 陽代議員



(一般質問の様子)

●子どもの教育環境

問 特別な支援が必要とされる児童生徒が増えてきているが、本町は。

高原小の特別支援学級は4クラスあるが、設置数は充分か。通級指導教室が設置されているが、1週間に1時間しか通えない。時間数を増やせないか。

答 特別支援教育への理解の深まりと、きめ細やかな支援を期待する本人や保護者のニーズが高まっている為、増加傾向にある。支援学級の設置数は確保できている。通級指導教室の授業時数は、週1時間が適正。

問 学びの多様な学校を作れないか。

答 県内や全国的な動向を注視しながら調査研究している。

問 切れ目ない支援をどうするか。

答 不登校児童や保護者が相談可能なフリースクール等民間施設の情報は、必要に応じて提供されている。ホームページへの追記を協議する。

問 学校外の施設の利用は、指導要録上、出席扱いになるか。

答 要件を満たせば、出席扱いとする。様々な学びの場の必要性は、高いと認識している。

問 休日や夏休みに、自習できる場所が必要。中学校の図書室開放は、どうなったか。

答 夏休みの前半と後半の各1週間、開放する。主に中学生を対象としている。大人は対象外だが、今後検討する。

●こども誰でも通園制度

問 既存施設で取り組むには、問題があるが、実施するのか。慎重な対応を。

答 令和8年度の実施に向けて、体制整備できるように努めていく予定。

●広報たかはる

問 発行部数は妥当か。内容を精査、ページ数を減らすなどして、主要なページはカラーにしてほしい。

答 3,500部は妥当。内容や発行部数は、デジタル化も含め協議する。配布場所も協議する。

答 令和7年5月末1,238名。

問 本町公式LINEの登録者数は。

答 SNSや公式LINEなどで、広報誌のデジタル版や回覧物等の存在に関する周知を強化していくが、紙媒体での情報発信は続けていく。

●広報誌及び回覧物等

問 紙媒体での情報については、ホームページなどで閲覧出来るため、受け取っていない。デジタル版で事足りるのではないかと意見があった。

答 令和6年7月にアンケートを実施し、負担軽減に努めている。再編については、地域住民からの申し出があった場合、検討を開始することとしている。

問 人口減少にあつて、各区の運営が厳しい中、区長の成り手不足や班長などの役割を押し付け合いになっているところもあると聞か、適正規模への再編が必要では。



▲学びの多様性

地域活性化の為にやるべき事！



やました かおり
山下 香織議員



(一般質問の様子)

●観光促進について

問 高原町の観光PRの現状とその効果、今後の方向性は。

答 本町には自然や神話、温泉など多くの観光資源があるが、県内外への発信が十分とは言えず、集客や滞在型観光の繋がりが限定的であると認識。令和5年度にPR係を設置しSNSを活用した情報発信を進めフォロワー数も伸びている。今後はデジタルパンフレットの制作や、地域資源を活かしたコンテンツ磨き上げ、インフルエンサー活用、ターゲット層へのマーケティング強化など、多角的なPR展開を目指す。



▲皇子原公園

●団地問題について

問 物価高騰を踏まえた収入基準の見直しは。

答 収入基準は国の法令に基づき自治体裁量で変更できず、15万8千円未満を適用中。生活困窮世帯の実態調査と、基準見直しの必要性を検討していく。

問 空室の再活用は。

答 再活用に向けた改修や用途変更・大規模修繕・用途廃止等を計画。

問 ペット飼育可能なエリアの導入は。

答 現行ではペット飼育は禁止されているが、議会での質問を受け、現状入居者のニーズや他自治体の取り組み等を調査研究中である。



▲町営住宅

「議員と語るうさぎパークゴルフ場を作ろう！」



まえはら じゅんいち
前原 淳一議員



(一般質問の様子)

●パークゴルフ場

問 世代間交流や憩いの場、健康増進、スポーツの進行にはパークゴルフが最適と思われる。心身もリフレッシュされることで健康寿命を伸ばすことにも繋がります。また公認コースとすることで全国規模の大会が開催でき、観光振興にも効果があると考えるが、建設の考えは。

答 グラウンド・ゴルフの普及を通じて、世代間交流や地域コミュニティの活性化や、身体健康維持に努めているところである。観光振興等期待はできるが、設備投資、維持管理を考えると現時点では予定していない。



▲高崎パークゴルフ場

●水道事業

問 工事業者は2社となっており、宅地内漏水等の修理や、水回りの改修工事など住民サービスにも影響が出ており、今後は公共工事にも影響が出てくる懸念がある。先送りせず、今真剣に考え取り組んでいかないと水道事業そのものが崩壊しかねない状況にあるのでは。

答 現状2社では対応が難しいことを確認し、今後の進め方など検討しているところである。新たな業者選定にあたっては、指名願ひ届出業者、または一般公募などを検討しており、令和8年度より新体制で取り組めるよう準備を進めている。

問 技術者を公募することで公務員の技術者として、今まで業者が担ってきた軽微な工事を行うことで住民サービスも整うのでは。

答 工具、機材、重機車両などの設備投資や様々な検討課題がある。

問 現行通り工事業者をお願いしていく。働き方改革が言われる中、業者は依頼があれば土日祭日関係なく出向かなければならない。今以上に負担をかけることがあってはならない。

答 水道工事発注も急な修繕工事等に対応できるよう、長めの工期設定をするなど配慮に努めている。

公共施設について



こおりやま さだとし
郡山 貞利議員



(一般質問の様子)

●今後の公共施設の在り方について

問 学校、病院、庁舎など老朽化や人口減少問題を抱えるなか、今後の公共施設の在り方について諮問され、3月には答申が出るとのことですが、答申内容を踏まえ今後どのように対応していく考えか。

答 「公共施設等整備の基本方針」の内容を現状に沿うよう見直しを行った方針内容について、高原町公のたても等整備検討委員会へ意見を求めた。学校、中央公民館を含む役場庁舎等、保育所、体育館について、安定した住民サービスの提供や、社会環境、本町の財政状況、財源確保など、総合的、長期的、多面的な視点で整備していくといったものとなっている。整備する優先順位については明記していないが、「学校建設は、早急に財源の確保を図り、建設目標年度を定めること」など各施設整備等に対する意見、要望等が付された

が、本町の進むべき施設整備の方向、方針を妥当と認めていただいたところである。

●廃校施設について

問 学校廃校後の管理計画について、どのような頻度で、だれが主体となって管理していくのか、また跡地利用に関してどのように進めていくのか。

答 廃校後の管理については、光熱水費の契約のあり方や施設の修繕、敷地の草刈り等、多岐にわたる上、狭野、広原、後川内のそれぞれの利用計画に依拠しての対応も必要となるため、現時点で誰がどのように管理するのか決定していない。これから協議の場を設けていく予定である。学校跡地の利用計画については、学校跡地に関する住民アンケート結果を踏まえ、地域住民や町の各分野の代表者などと、役場で一緒に検討する方向で、秋ごろまでに跡地活用を検討委員会を設置すべく、現在準備を行っている。



▲広原小学校

文化・伝統を次世代につなぐために



ほかむら ひとし
外村 仁議員



(一般質問の様子)

●文化・伝統の継承について

問 郷土芸能（神楽など）を見せる場所をつくれないか。

答 保存会の意思を尊重することが重要であり、本来行事以外の公演等については保存会の余力を確認しながら行わないと支障をきたすと考えている。映像のみ残っている郷土芸能の活用については、施設管理や機材確保等の課題があり、手軽に多くの方に視聴いただく手段としてホームページ掲載や動画配信サイトでの公開が有効と考えている。

問 昔ながらの遊びや伝統を残すために観光と結び付けてPRできないか。

答 地域の方々の意向や意見を賜りながらPR等に活かしていければと考えている。

●祭りの開催時期の見直しは。

答 日本発祥地祭りは宮崎市、奈良県橿原市との連携等があるため慎重に行う必要があるが、夏祭りの開催

時期については主催の商工会へ情報提供を行いたい。



▲御田植祭の様子

●小中学校統廃合関連の進捗について

問 各学校の共通備品関連の取扱いは。

答 廃棄すべき備品と使える備品の整理を行い、新たな小中学校が必要としない備品の取扱いについては統合後の検討になると考えている。

●公共施設整備の方針について

問 整備の優先順位等を早く決めることはできないのか。

答 保育所の指定管理が令和8年度までとなっていること、統合が決まっている小中学校について、答申が目標年度を定めることとなっている事等を含んだ形で決定しなければならないと考えている。

宮崎県酪農公社解散について



いわもと れいこ 議員
岩元 礼子



(一般質問の様子)

●宮崎県酪農公社解散について

問 酪農公社解散に伴う酪農家が預けている23頭(4月現在)の預託牛の対応は。

答 県酪農公社から全国酪農業協同組合連合会の預託事業へ移行する予定。酪農家の意向としては、小林市営牧場への預託や県外への預託など検討中である。今後町の対応は関係機関と酪農家の労働力負担軽減につながる協議を実施していく。

●再生可能エネルギー、小水力発電所について

問 小水力発電所の取り組みは。

答 高原の小水力発電の現状は狭野地区の農業水利施設を活用した小水力発電所1箇所のみ。低炭素・循環型社会の実現の為に、再生可能エネルギーの導入促進は重要であり、特に小水力発電は集落周辺を流れる

河川や農業用水利施設を利用できることから、土地改良区、民間、地域住民主体による小水力発電の推進を図っていく。小水力発電導入のメリットや国・県の補助事業等町民に情報提供を行っていく、また導入要望があった場合は関係機関と連携を取りながら手助けを行っていく。



▲小水力発電発電所

●環境保全について

問 不法投棄防止対策や、環境保全の取り組みは。

答 不法投棄パトロール、不法投棄が多い場所へのカメラや看板の設置、公用車へ不法投棄抑制を促すステッカーを貼り、町民の目に不法投棄の違法性を周知するなど様々な対応を行っていく。住民意識も変えていくような啓発も必要と考えている。

天下りは適正に規制すべき！



けいすけ じん 議員
主介 陣



(一般質問の様子)

●地域公共交通

問 乗合タクシーの運行時間帯の設定につき課題が残っているようだが。

答 一般タクシーとの棲み分けや輸送効率等配慮すべき点はあるが、主に高齢者の移動手段として様々な意見を参考にし、より使いやすい制度構築に向け検討する。

問 スクールバスの有効活用事例として、登下校時の空席の一般の方による活用や、登下校時間外の乗合バスとしての活用の意見があるが。

答 混乗化は理解を得ることが困難だった経緯がある。乗合バスについては、導入する車両が大きい等、未解決の課題もある。今後検討したい。

●退職管理

問 天下り規制条例につき、過去に必要なであるとの答弁を得ているが、その後の進捗は。

答 現時点で、制度導入につき具体

的な進捗を伝えられる状況に至っていない。

問 検討されていた内容は。

答 職員への働きかけ禁止の要綱を作成し住民に周知した。条例は過剰であるという整理。

問 地公法には、国家公務員法の規制を念頭に、その趣旨を踏まえた措置を講ずるべきとする規定があるが。

答 退職者に働きかけ行為規制及び規制違反に対する制裁措置を記載した文書を交付している。

問 現状だけで法の趣旨は満足するものとお考えか。

答 働きかけに対する規制等はできていると認識する。

問 天下りを条例で厳格に禁止している自治体もある。本町は。

答 同様の条例整備は考えていない。

問 元職員に対する再就職情報の届出義務を条例で定められるが。

答 罰則も含め条例や要綱等で制度化する方向で調査研究する。

問 外郭団体の設立が天下り先の確保に映る場合がある。公平公正な行政の姿勢の示し方につき考えは。

答 国家公務員法、地公法に照らしながら条例、要綱等を検討して参りたい。

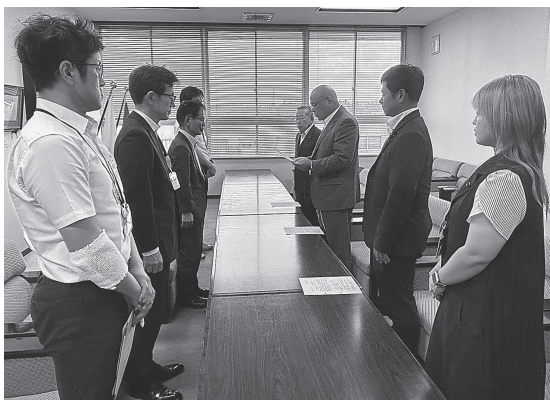
議会の動き

○富山県朝日町議会行政視察受け入れ



○5月14日、富山県朝日町議会が来庁され、「地域商社と連携した事業継承」について行政視察が行われました。

○「議員と語ろう会」の町長報告



○6月13日、「議員と語ろう会」において提案された意見や要望等を町長へ報告しました。

令和7年4月1日～6月30日まで

4月	1日	議会だより編集委員会
		全員協議会
	15日	議会の在り方検討特別委員会
		公共施設の在り方検討特別委員会
	21日～24日	議会報告会「議員と語ろう会」
5月	1日	5月臨時会
	2日	子牛品評会（議会賞の授与）
	14日	富山県朝日町行政視察受け入れ
6月	2日	子牛品評会（議会賞の授与）
	4日	議会運営委員会
	6日	全員協議会
	11日～13日	6月定例会
	12日	総務経済常任委員会
		文教厚生常任委員会
	13日	議会の在り方検討特別委員会 「議員と語ろう会」の町長報告

※その他、議長については議長用務があります。

議会活動に付随する主な議員活動

○県知事との意見交換会



○3月25日、河野知事と懇談。県の方針を伺い、町の要望等を届けました。

○西諸県選出県議の県政報告会



○4月10日、丸山県議と下沖県議より、令和7年度県予算について説明があり、意見交換を行いました。

※この他議員活動として町や各種団体主催の公的行事への出席等を行っています。

きらり★たかはるびと

あなたの夢を応援します!!



4月から自転車通学です。
スラックスなので、こぎやすいです。
ヘルメットも自分の好きなのを
かぶれるようになり嬉しいです。

つねよし ゆかり
恒吉 緑さん
(出口区/高原中1年)



みやべ ともこ
宮部 朋子さん
(鹿児島区)

美しい自然が残る
高原町は、日々の暮らしを
とても心豊かにしてくれます。
(埼玉県より移住)

乗合いタクシーで
議会傍聴に参りました。
一般質問、
楽しかったですよ。



ながやま りょうこ
永山 良子さん
(上広原区)

議会を傍聴
しませんか?

編集後記

ようやく梅雨があけたと
思ったら、とたんに真夏日…。

この夏は、どうなるのでしょうか。新燃岳も
噴火し、予断を許さない状況です。熱中症対策は
万全にしましょうね。

梅雨の合間に、道端で、びっくりする花木を見
つけました。私の頭ほどもある花です。泰山木
(たいざんぼく)というそうです。初めて?! 見
ました。花言葉は「前途洋々」。

議会だよりは、新しいメンバーで編集します。
わかりやすく、関心を持っていただけるようにが
んばります。

編集委員長 西嶋 陽代



【編集委員】西嶋 陽代 岩元 礼子 山下 香織 郡山 貞利

9月定例会は

9月3日(水)～

※質問者数により日程が決まります。

本会議は午前10時開会

請願・陳情を出される方は8月26日(火)までに提出下さい。

詳細は町公式ホームページにて
高原町議会事務局 ☎42-5138



YouTubeでもご覧いただけます。

よろしく
お願いします。

